

児童発達支援・放課後等デイサービス 支援プログラム

■「一人一人にそれぞれのフツウ」

■視覚的・具体的・肯定的なコミュニケーション

取組み	①健康・生活	②運動・感覚	③認知・行動	④言語・コミュニケーション	⑤人間関係・社会性	家族支援	地域支援
絵本選び	■③で用意した絵本は、食文化や季節に合った本、子どもたちが関心を寄せているテーマのものを選ぶ。		■スタッフが用意した5冊の絵本の中から、読んでほしい本を1冊選ぶ。	■その1冊を、スタッフとみんなに言葉で伝える。■他者の希望を聴く。	■複数の候補が上がった場合は、みんなで話し合って決める。■自分の希望しなかった絵本になった場合は辛抱する。	■オープンフィールドのメニューとして設定し、ご家族に読み手になっていただく。■子どもたちの反応を間近で見ていただく。■家庭でも読み聞かせの時間を作っていただくきっかけとしたい。	■地域に開かれた、「読み聞かせの会」「朗読会」を開催する。■地域の方に演者になっていただく。
照明準備			■17:30頃、暗い森のなかで読み聞かせするので、スタッフが照明を設置する。■その際、見えやすい角度、明るさなどについて、子どもたちから意見を出してもらう。■子どもたちは自分の思いを言葉にしてスタッフとみんなに伝える。■他者の意見を聴く。■最終的にその場にいる全員にとって一番観やすい聴きやすい環境となるよう、お互いが譲り合う。				
導入	■③食文化・季節・子どもたちが関心を寄せているテーマであることを伝え、普段の生活を想起してもらう。		■スタッフが、どんな物語なのか、短く簡単なお話をし、イメージを膨らませてもらう。				
読み聞かせ			■スタッフは、子どもたちが登場人物の状況・心情に共感してもらえるよう演出する。■登場人物がどんな気持ちなの考える。	■「登場人物の気持ち」を言葉にしてみんなに伝える。■みんなの思いを聴く。■みんなの思いにも共感する。	■絵本を題材にした演劇に発展させることを念頭に、スタッフは子どもたちの「思い」を記録し、集積する。		

(状況)

- ・森から帰る前の時間帯 17:30頃。
- ・暗く、周囲が見えづらい。
- ・子どもたちの行動がバラバラで、テンションが高い

(目的)

- ・安全に送迎車に乗ってもらうため、興奮を抑え、落ち着いてもらうのが狙い。